

2025年度 第2回 雄踏中学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年6月5日（木） 14時30分～16時30分まで
- 2 開催場所 雄踏中学校 1階会議室
- 3 出席委員 藤田 源大、藤田 雅光、加茂 しづか、関谷 みゆき、河瀬 俊夫、
- 4 欠席委員 渥美 香由里、山内 勝己、坂下 正泰、坂田 尚久
- 5 学 校 山下 博之（校長）沖田 暁（教頭）
武田 伸江（教諭）高柳 雄大（教諭）
藤松 昌一（CSディレクター）

- 6 教育委員会 出席者 なし
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 藤松 昌一

9 開会挨拶（教頭）

委員総数9名中、5名が出席し過半数に達しており、会議が成立したことについて報告があった。

10 会長挨拶（藤田源）

本日のテーマは『社会を生き抜くための資質・能力』と『雄踏中ならではの教育』について熟議をして頂く。

11 校長挨拶

第5条に協議会の目的、役割が示されている。

- ① 教員の質向上を図るためにはどのようにしたら良いかを委員、地域住民、PTAの皆さんに議論して頂き、ご意見、ご提案を頂きたい。
- ② 教員の働き方改革での超過勤務時間（45時間／月）の法律遵守に向けた取組について、どのようにしたら守れるか、お知恵を頂きたい。
- ③ 健全育成に関する項目として、交通安全について地域住民から多数の声を頂いている。苦情、お叱りなどの声にどのように応えていくかご意見を頂きたい。

12 前回議事録の確認（教頭）

- 13 ①の項目について、資料を使用して説明した。（武田）

14 熟議

SWOT分析表を用いて討議を行った。

①について以下の意見が出た（要約）

- ・今の教員は勤務している中学校区内を歩いて視察する経験が無いと思う。教員自身が地域の状況を理解する事が重要である。（藤田会長）
- ・長期休業中に学区内を視察することを計画したい。（校長）
- ・昔の常識が現在の非常識となっている。授業を見させてもらっても良いのか悪いのか判断が出来ない。（河瀬）
- ・雄踏以外の先生方の雄踏に対する感想、見え方などを逆に聞くのも自分達の地域を見直す重要な資料となる。先生の方が他地域（他校）との比較が明確にできるのではないか。（会長）

- ・学校内では時間のない中、意見交換をして学校の特徴を把握し共有化してきている。しかし外部の人の声を聴く機会がない。(教頭)
- ・委員が参画して行っている行事についても、他校では実施していない内容が多くあると思う。しかしその特徴がプラスに寄与しているのか、マイナスなのかの評価が自分達ではできない。(河瀬)
- ・生徒が非常にピュアで真面目に取り組んでいる。良い面であるが反面、高校進学で他校の人間との関係が上手く築けるか心配になる。早い段階から人との関係を築くための教育が必要だと記入した。(会長)
- ・何事も表裏一体の関係がある。地元が生徒を受け入れる職場体験など、非常に有効ではないか。またボランティアも地域に参加出来る非常に良い機会だと思う。(河瀬)
- ・地域性から非行に走る余地が少ない環境にある。逆に転校生にはなじみにくい雰囲気がある。習い事と地域行事への参加が重なった場合どうしても塾を優先させてしまう。(加茂)
- ・良かれと思って地域住民が声を掛けると、逆に警戒されてしまう難しい時代になった。(会長)
- ・短時間で効率よく教育をする仕組になっている。授業に余裕が持てない状況が問題ではないか。(会長)
- ・私見として土曜日の半日を月一回課題解決の時間に充てる事が出来ればと思う。そのような発想が必要だと思う。但し人財と資金の目処を立てなければならないが。(会長)

15 今後の具体的活動日程について

- ・防災について学ぶ日(1年生) 10月17日(1日間)
- ・職場体験(2年生) 9月10・11日(2日間)
- ・被服ボランティア(1年生) 10月上旬～1月(詳細日程は別途)
- ・面接ボランティア(3年生) 1月・2月(詳細日程は別途)
- ・学校アンケートを実施 今年度は紙では無く電子化(タブレット)で実施する。活動日程について全員に承認を頂いた。

16 連絡事項

- ・第3回学校運営協議会 10月22日 13:30～授業参観 14:15～討議予定
- ・第4回学校運営協議会 2月12日 14:30～予定

学校行事

- ・文化発表会 10月2日 雄踏文化センター
- ・体育大会 11月6日 学校グラウンド

閉会の言葉

1年生から雄踏の歴史やお祭り、雄踏音頭などの研修を行う。

いのちについて考える日には講師を呼んで講話を聴く、合唱コンクールでは地元出身のプロを呼ぶ計画となっている。地元との関わりを深めていく。(校長)